

定時に帰る GX Works3 活用術

Vol.1
データフロー解析編



データフロー解析で、
デバッグ工数を短縮

設備にトラブル!
早く終わらせて帰りたい!



だから
GX Works3
がおすすめ!

- ✓ 状態を確認
- ✓ すばやく原因を特定
- ✓ 解析、デバッグ



データフロー解析で、
早急にデバック

GX Works3で解決!

トラブルの早期解決に役立つ メンテナンス機能

「システムモニタ」では、システムのユニット構成やエラー状態などを確認できます。

「イベント履歴表示」では、各ユニットで発生したエラーや実行した操作を時系列で確認できますので、トラブルシュートに役立ちます。

「各種ネットワーク診断」では、ネットワークの異常箇所をグラフィカルに表示するため、ダウンタイムを短縮できます。

■ システムモニタ



■ CC-Link IE Field診断画面



エラーの詳細情報、
原因、処置方法を表示



■ イベント履歴表示

**GX Works3の
便利な機能を
ご紹介します!**



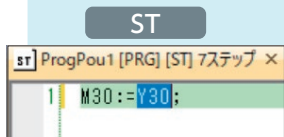
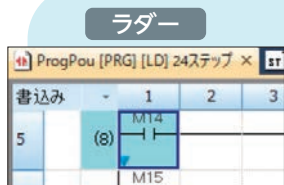
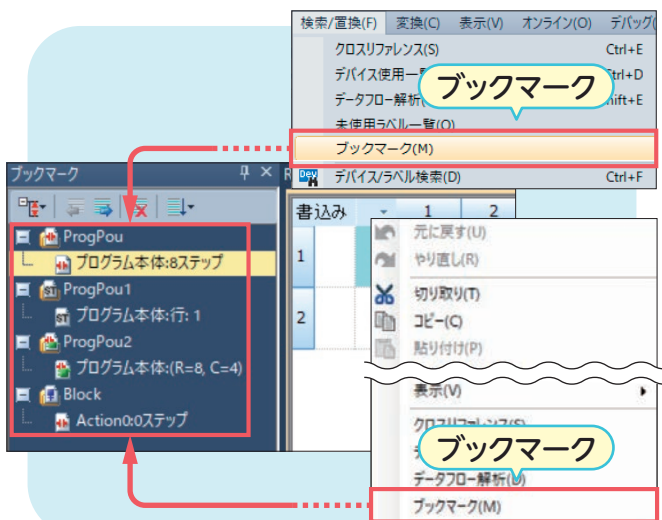


働き方改革は作業の効率UPから！

超速の原因究明

✓ ブックマーク登録

プログラムの位置情報をブックマークに登録できます。トラブル発生時の要因分析がすぐに行えます。



プログラムエディタ

- ・Enterキー押下
- ・ダブルクリック
- ・「開く」メニュー押下

データフロー解析、プログラムエディタに対応

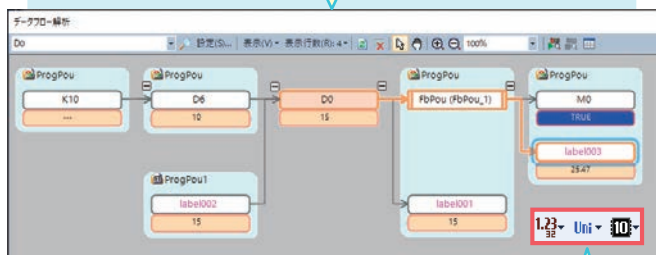


確認時間を短縮できる

✓ フロー図モニタ値表示

フロー図にモニタ値を表示することで、モニタ値の変化を容易にトレースできます。

デバイス/ラベルのモニタ値を表示



スマートタグで現在値表示するデータ型と進数表示を変更可能

✓ 一括インポート/エクスポート

設定値のインポート/エクスポートに対応。ファイルを編集、インポートすることにより、一括で設定できます。





解析効率を上げる

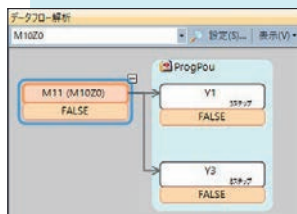
✓ インデックスレジスタ値を考慮した解析

オフラインモニタ実行中に、インデックスレジスタの値を考慮したデータフロー解析を実施できます。

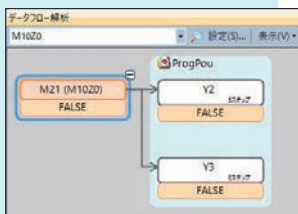
書込み		1	2	11	12
1	(0)	M1			Y0
2	(2)	M11			Y1
3	(4)	M21			Y2
4	(6)	M10Z0			
5	(9)				[END]

「M10Z0」を
データフロー解析実施

Z0 = 1 の場合



Z0 = 11 の場合



／ デバッグ時の解析効率を向上 〵

✓ デバイス値を素早く特定

修飾されたデバイス値とインデックスレジスタの値から、解析対象のデバイスを特定し、データフロー解析を実施できます。

データフロー解析の詳細は、こちらのサイトでも
ご覧いただけます。

**三菱電機FAサイト
教えて!GX3号**



その他の新機能、マニュアルはこちらからダウン
ロードできます。

三菱電機FAサイト



カタログ*



マニュアル*



*: 閲覧には「FAメンバーズ」のご登録(無料)が必要です。

